

二世豊竹古靱大夫床年譜 (八)

(轉載不許)

年 次 劇場並に狂言 古靱大夫に關する記事 淨瑠璃界一級

大正四年

三月二十日初日
(二十二日間)

前 義經千本櫻 文 樂 座
中 壺坂靈驗記 土佐町之段
増補忠臣蔵 本藏下屋敷之段
兩國橋勢揃之段

役場 (初役) 嵯峨庵室之段切
三味線 八雲 三澤清六
鶴澤清六病氣の爲め五六日休演德太郎替り役を勤む。

四月十八日初日
(二十八日間)

前 本朝廿四孝 同 座
中 中心天綱嶋 十種香之段迄
切 卅三間堂棟由來 祇屋內之段
平太郎住家之段

役場 (初役) 平太郎住家之段切
三味線 三澤清六
古靱大夫病氣にて一週間休演、鍛大

六月一日初日
(二十五日間)

前 双蝶々西輪日記 同 座
中 簾景清八嶋日記 大序より
花菱屋之段
欠 櫻錦恨鮫鞘 日向嶋之段
生寫朝顔話 鰻谷之段
宿屋之段
道行

役場 (初役) 引窓之段切
三味線 三澤清六

人形部五世吉田兵吉再出座。

常子大夫、七世竹本八十六夫と改名す。

是にて夏休

年次	劇場並に狂言	古軀大夫に關する記事	淨瑠璃界一般
七月一日初日 (七日間) 七月九日初日 (七日間) 七月十七日初日 (五日間) 九月十五日初日 (二十五日間) 十月廿三日初日 (三十四日間) 十二月一日初日 (五日間) 十二月八日初日 (三日間) 十二月十四日初日 (七日間)	竹本越路大夫一座 京都 南座 大阪 浪花座 名古屋 御園座 文樂座 前 八陣守護城 大序より 中 艶容女舞衣 酒屋之段 切 玉藻前旭袂 道春館之段 道行 假名手本忠臣藏 同座 竹本越路大夫一座 名古屋 御園座 (人形入) 豊橋 彌生座 東京 新富座	古軀大夫參加 御園座打揚げ後、越路大夫夫妻、岡おゑん、勝市、高木、東玉、徳大、金ナヲ、友平、寛市、福岡、源路大夫、兵内と共に富士登山。 小綱 役場 (初役) 浪速入江之段 掛合 三味線 三味線 三味線 三味線 三味線 三味線 三味線 三味線 役場 (初役) 玉泉山之段 掛合 三味線 三味線 三味線 三味線 三味線 三味線 三味線 三味線 役場 (初役) 肩ヶ谷之段切 掛合 三味線 三味線 三味線 三味線 三味線 三味線 三味線 三味線 古軀大夫參加 津大夫參加	七月五日、五世吉田兵吉歿す。 七月十六日、五世鶴澤仲助(本名水野好太郎)東京にて歿す。法名信樂院釋入定居士、行年五十一。前名二世鶴澤寛三郎。 玉助、四世鶴澤勝七と敬名す。 是にて冬休。

大正五年(三十九歲)

一月二日 初日
(二十九日間)

前 菅原傳授手習鑑 文 樂 座
大序より
寺子屋之段迄

中 戀女房染分手綱 双六之段
子別れの段
切 廓 文章 吉田屋之段

二月六日 初日
(二十八日間)

前 伽羅先代萩 同 座
大序より
御殿之段迄

次 紙子仕立兩面鑑 大文守屋之段
中 近江源氏先陣館 八冊目の中切
切 明烏六花曙 吉原山名屋之段より
道行迄

三月七日 初日
(三二日間)

尾之道 僧樂座

三月十四日 初日
(二十七日間)

妹脊山婦女庭訓 文 樂 座
大序より
御殿之段迄
傾城阿波の鳴戸 十郎兵衛住家之段

四月十三日 初日
(五日間)

神戸新開地 神戸劇場

役場 (三度目) 車先之段

掛合 櫻九
三味線 四世豊澤廣作
(初役) 筑紫 配所之段
三味線 三世鶴澤清六
ツレ 鶴澤芳之助

役場 (二度目) 累身賣之段切

三味線 三世鶴澤清六

古靱大夫、清六、源大夫、勝市、靜
大夫、芳之助外

役場 (二度目) 山之段

掛合 久我之助
三味線 三世鶴澤清六
(初役) 杉酒屋之段
三味線 三世鶴澤清六
右三段目 掛合の三味線は前後四人替
りにて、前寛治郎、清六、奥吉兵衛
綱造なり。

古靱大夫、清六、源大夫、勝市、鏖
大夫、徳太郎、靜大夫、芳之助外

二月十七日、九世竹本染太夫(本名
秋山瀧造)歿す。法名眞月院自高日
照居士、行年六十四。大正二年六月
興行限り引退して住吉に居住せり、
墓所は香川県三豊郡杵田村字上田在
家にあり

本興行限り鶴澤綱造休座。

年次	劇場並に狂言	古靱大夫に關する記事	淨瑠璃界一般
四月二十日初日 (二十七日間) 八月廿二日初日 (四日間) 八月廿七日初日 (二日間) 八月三十日初日 (三日間) 九月三日初日 (二日間)	文樂座 前 大江山酒順童子 大序より土蜘蛛 中 奥州安達原 袖萩祭文之段 切 新版歌祭文 野崎村之段 六月一日初日 (二十日間) 前 生寫朝顔話 大序より 中 競伊勢物語 大井川之段迄 切 極彩色娘扇 玉水淵之段より 靱永代漬之段より 増井之段迄 竹本越路大夫一座 京都南座 美音會 東京有樂座 竹本越路大夫一座 前橋柳座 桐生帝國座 足利足利座 水戸常盤座	役場 (初役)野崎村之段切 三味線 三世鶴澤清六 ツレ 鶴澤芳之助 役場 (初役)春日村之段次 (はつたい茶) 三味線 三世鶴澤清六 古靱大夫、清六參加 古靱大夫、清六參加 「奥州安達原」袖萩祭文之段を語る。 古靱大夫、清六參加。	竹本津大夫の合三味線鶴澤友次郎となる。 五月二十五日、二世竹本津大夫事七世綱大夫妻女鶴澤きく歿す。法名釋尼妙嚴。 是にて夏休。 八月一日、八世竹澤彌七(本名上田彌吉通稱藥師)京都にて歿す。法名觀空喜應絲秀禪定門。行年七十三。